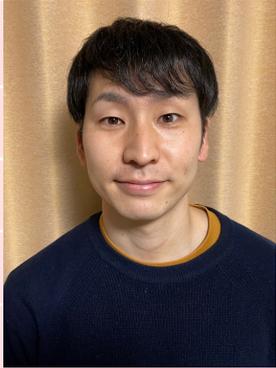


| | | |
|-------------------------|--|---|
| 名前 | 吉成 祐人 (ヨシナリ ユウト) |  |
| 所属 | 群馬大学 生体調節研究所 個体代謝生理学分野 | |
| 職種・学年 | 助教 | |
| 実験動物 | キイロショウジョウバエ・コクヌストモドキ etc… | |
| 好きな実験 | 免疫組織化学染色・行動解析 | |
| 趣味 | 陸上競技・サッカー・映画・Netflix鑑賞・エビの飼育・競馬観戦 | |
| Homepage | https://sites.google.com/view/nishimura-lab/ | |
| ひとこと | 実は、比較内分泌学会にはまだ行ったことがありません。ぜひ今年は参加させてください！Twitterやってます @2ysnryt | |
| 研究紹介 | PIの西村隆史教授とともに、キイロショウジョウバエを用いて、神経伝達物質や代謝産物が、どのように機能しているかを研究しています。栄養・行動・生殖などが主に着目している現象ですが、最近ではハエで同定したホルモンの機能的な保存性、違いを見つけるために、コウチュウ（コクヌストモドキ）などの昆虫も取り入れて実験しています。 | |
| トピック1： 目標、チャレンジしたいこと | ハエなどの昆虫で同定したホルモンが、甲殻類や他の無脊椎動物にも広く保存されていることが多々あります。そこで、実際にその機能を確認するために、エビ（ミナミ・カワリヌマエビ属）の飼育を始めました。エビについては、現在近親交配を繰り返しており、ゆくゆくはトランスジェニック系統を作ろうと考えています。ぜひみなさまとディスカッションさせてください！ | |
| トピック2： 他の研究者へのメッセージ | 若手の方々同士がコミュニケーションを取れるこういった企画は、他の学会ではあまりありません。特定のモデルにこだわらず、様々なモデルや現象について議論・交流できる良いコミュニティだなと感じています。似た興味を持つ仲間は本当に大切な存在です。ぜひ交流を！ | |



研究室の様子

ハエ摂食行動実験

エビ水槽
(水入れ替え直後で濁ってます)

エビ眼柄の免疫染色
複眼

顕微鏡を覗きながらハエをソーティングしています

神経ペプチドA
神経ペプチドB
神経ペプチドC

実習時には学生さんが増えて賑やかです

内分泌組織の免疫染色が好きです

オニテナガエビ
(こちらは個人的に飼っているだけです)

ハエのグルカゴン様ホルモン産生細胞
糖輸送体発現細胞

コクヌストモドキ アラタ体側心体